



fフェイスブックでは、さらに阿南市や地域の出来事をチェックできます！



学生視点で阿南市の将来像を描く



9月2日、阿南工業高等専門学校にて、創造技術工学科建設コース4年生の授業の一環として、「学生視点の阿南市総合計画をつくろう！」発表会が開催されました。参加した学生21人は、本市の現状の問題・原因と将来への行動を考え、暮らしたい・働きたい阿南市の将来像について意見を交わしました。



災害時 施設使用に関する協定を締結



8月28日、市役所にて、宮和海運株式会社と「阿南市指定避難所としての施設使用に関する協定」を締結しました。大規模災害時に地域住民の安全確保を図るため、ホテルサンオーシャンの客室（最大101部屋、150人収容可能）を避難所として使用させていただきます。



高齢者等見守り さらなる充実に向けて



本市は、明治安田生命保険相互会社徳島支社と「高齢者等見守り活動に関する協定」を締結しました。8月25日、市役所にて、調印式が行われ、支社長の東 靖彦さんは、「以前からの地域の安全を守る社会貢献活動に加え、徘徊高齢者等の見守り活動でも役割を大いに発揮したい」とあいさつされました。



那賀川流域全体で治水対策を推進



那賀川流域全体のあらゆる関係者が協働して、水害を軽減させる「流域治水」を計画的に推進するため、那賀川流域治水協議会が8月7日に設立されました。協議会は、国、県、流域自治体などで構成。河川や流域における対策などを記した「那賀川流域治水プロジェクト」を令和3年3月頃に公表予定です。



有機米甘酒でお元気に



地域おこし団体「皇ガニック7（オーガニックセブン）」の北條誠一さんが、本市を通して、老人ホーム福寿荘に甘酒の冷凍パック90食を寄贈されました。甘酒は、観光農園サニーズファームが栽培する有機米を使用。北條さんは、「コロナ禍の中、甘酒を飲んで元気でいてほしい」と話していました。



毒を持つ セアカゴケグモに注意



特定外来種で毒を持つセアカゴケグモが、8月24日に那賀川河口砂州で発見されました。体長が約0.7～1cmで、背中に赤い模様があるのが特徴です。咬まれたら、痛みや腫れを引き起こし、重症化することもあります。見つけたら、素手では触らず、殺虫剤を噴霧するか、足で踏みつぶしてください。